

市立伊勢総合病院

○ 業務の概要

自治体病院は、地域における基幹的な医療機関として、救急医療や高度医療を担い、その地域に必要な医療の確保と医療水準の向上に大きな役割を果たしているところであるが、近年の医療制度改革や全国的な医師不足等により、経営環境や医療提供体制の維持は依然として厳しい状況にある。

このような中、当院としては、消化器外科及び緩和ケア内科の開設（8月）など、医療体制を充実し、二次救急を行う地域の中核病院として、市民の皆様に信頼される病院を目指し、良質かつ高度の医療を提供できるよう、医療提供体制の確保と医療水準の向上に努めてきた。

業務の状況については、延べ入院患者数67,970人（1日平均186人）、延べ外来患者数122,860人（1日平均504人）、健診者数13,508人（1日平均47人）となり、前年度と比較すると、入院患者数においては、2,439人の減少となり、外来患者数においても、2,940人の減少、健診者数においては、694人の増加となった。

収益的収支の状況については、収入として、一般会計負担金550,313千円、一般会計補助金363,179千円を含み、事業収益6,013,539千円となり、支出においては、その他特別損失として引当金2,212,716千円を計上するなど、総支出額8,028,008千円となり、収支差引2,014,469千円の単年度純損失を生ずる結果となった。

資本的収支においては、収入として、一般会計負担金74,890千円、企業債258,700千円、寄附金6,125千円、基金繰入金60,000千円、出資金40,600千円と投資償還金1,540千円の計441,855千円に対し、支出では資産購入費232,058千円、新病院建設事業費196,082千円、企業債償還金63,512千円、投資60,500千円、基金積立金65,288千円となり、このうち資産購入費の主なものとして、統合型臨床情報システム（29,700千円）、心臓超音波診断装置（29,074千円）、一般X線撮影間接変換FPD装置（23,760千円）等の導入並びにその他更新整備を図り、また、新病院建設事業費の主なものとして、建設用地の取得（162,660千円）、新市立伊勢総合病院建設工事設計業務委託（20,410千円）、投資の主なものとして、医師奨学金（39,600千円）、看護師奨学金（20,400千円）となった。

資本的総支出額としては、617,440千円となり、収支差引175,585千円の不足となったが、損益勘定留保資金等で補填した。

以上が主な概況であるが、法改正による会計基準の見直しに伴い、発生した利益剰余金3,651,135千円を含め、なお当年度未処理欠損金が2,108,231千円（前年度末未処理欠損金3,744,897千円）を有しているので、医師や看護師の確保に努め、医療体制の充実に引き続き取り組むとともに、健全で効率的な経営を行い、安全で安心してもらえる医療を提供していくよう努めていく。

1 職員に関する事項

(各年度3月31日現在)

区 分	医師	看護職	医療技術職	事務・その他	計
平成26年度	41 人	188 人	71 人	43 人	343 人
平成25年度	36	185	65	42	328

2 経理の状況

(1) 平成26年度伊勢市病院事業損益計算書

(単位 円)

平成26年 4月 1日から 平成27年 3月31日まで			
借 方		貸 方	
病院事業費用	8,028,008,344	病院事業収益	6,013,539,531
医業費用	5,473,813,601	医業収益	4,614,676,985
給与費	3,402,628,318	入院収益	3,000,292,336
材料費	965,643,773	外来収益	1,471,335,636
経費	817,116,532	他会計負担金	49,870,000
減価償却費	237,091,519	その他医業収益	93,179,013
資産減耗費	22,494,118	健診収益	271,539,488
研究研修費	28,839,341	健診収益	271,539,488
健診費用	150,991,973	医業外収益	1,075,803,560
給与費	111,685,647	他会計補助金	367,334,840
材料費	5,815,202	他会計負担金	500,443,000
経費	24,938,704	県補助金	3,274,000
減価償却費	8,552,420	国庫補助金	3,480,000
医業外費用	190,486,642	負担金交付金	3,000,000
支払利息及び 企業債取扱諸費	12,784,743	長期前受金戻入	135,183,988
雑損失	156,861,381	その他医業外収益	63,087,732
負担金	20,212,718	特別利益	51,519,498
医業外雑費	627,800	その他特別利益	51,519,498
特別損失	2,212,716,128	当期純損失	2,014,468,813
その他特別損失	2,212,716,128		
合 計	8,028,008,344	合 計	8,028,008,344

(2) 平成26年度伊勢市病院事業貸借対照表

(単位 円)

		平成27年 3月31日	
借	方	貸	方
固定資産	3,608,516,208	固定負債	2,628,844,961
有形固定資産	3,457,502,690	企業債	795,161,098
土地	1,287,613,085	建設改良等企業債	795,161,098
建物	5,383,027,338	引当金	1,833,683,863
構築物	296,438,161	退職給付引当金	1,833,683,863
器械備品	3,606,702,225	流動負債	1,271,571,740
車両	5,217,388	一時借入金	350,000,000
リース資産	25,532,308	企業債	138,744,480
建設仮勘定	66,504,148	建設改良等企業債	138,744,480
減価償却累計額	△7,213,531,963	リース債務	11,877,034
無形固定資産	3,562,685	未払金	569,287,495
電話加入権	3,562,685	医業未払金	419,586,405
投資その他の資産	126,010,000	未払消費税	15,030,300
長期貸付金	126,010,000	その他未払金	134,670,790
基金	21,440,833	その他流動負債	1,163,731
基金	21,440,833	預り金	163,731
流動資産	1,140,607,568	預り保証金	1,000,000
現金預金	125,497,982	引当金	200,499,000
現金	585,000	賞与引当金	168,855,000
預金	124,912,982	法定福利費引当金	31,644,000
未収金	997,272,317	繰延収益	856,599,822
医業未収金	956,288,476	長期前受金	4,331,455,811
医業外未収金	42,783,841	収益化累計額	△3,474,855,989
貸倒引当金	△1,800,000	資本金	560,218,431
貯蔵品	17,837,269	剰余金	△568,111,178
薬品	12,140,924	資本剰余金	1,540,119,896
診療材料	5,696,345	受贈財産評価額	145,301,565
		国庫補助金	46,876,000
		他会計補助金	571,419,568
		工事負担金	53,395,358
		寄附金	94,743,500
		補助金	2,008,000
		他会計負担金	626,375,905
		欠損金	2,108,231,074
		当年度未処理欠損金	2,108,231,074
合 計	4,749,123,776	合 計	4,749,123,776

3 病院利用状況

診療科目	入院	外来
内科	24,751人	34,238人
循環器内科	2,478	—
外科・消化器外科	8,492	9,950
整形外科	21,655	19,664
形成外科	—	1,013
皮膚科	712	9,641
泌尿器科	3,121	9,634
産婦人科	845	3,790
小児科	—	104
耳鼻いんこう科	—	509
眼科	1,083	7,068
精神科	—	1,614
脳神経外科	—	308
歯科口腔外科	968	11,988
放射線科	—	3,634
麻酔科	—	1,077
神経内科	3,865	8,628
計	67,970	122,860

4 物品購入に関する事項（金額100万円以上）

購入年月日	器械備品名	規格	金額
26. 6. 16	高周波手術装置	アムコ VI0200S	円 1,447,200
26. 6. 23	ハイビジョン内視鏡システム	オリンパスメディカルシステムズ VISERA ELITE OTV-S190 他	9,892,800
26. 6. 25	汎用超音波診断装置	日立アロカメディカル F37	3,218,400
26. 6. 25	超音波診断装置	日立アロカメディカル Noblus	9,979,200
26. 6. 25	心臓超音波診断装置	GEヘルスケア・ジャパン Vivid E9 (ポータブルVivid i含む)	29,073,600

26. 6. 25	腹部超音波診断装置	G Eヘルスケア・ジャパン LOGIQ E9	円 12,916,800
26. 6. 26	能動型下肢用CPM装置	日本シグマックス オプティフレックス3 3台	1,490,400
26. 6. 27	喉頭鏡システム	町田製作所 ファインダー付挿管用 LVS-MAC3	1,021,680
26. 7. 30	電気メス	コヴィディエン Force Triad エネルギープラットフォーム	2,484,000
26. 10. 21	大腸ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ EVIS LUCERA PCF-Q260AI	3,218,400
26. 11. 7	標本収納保管庫	白井松器械 H-1800-ST/EX	1,728,000
26. 12. 4	腹腔・胸腔ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ ENEDOEYE FLEX LTF-S190-5	3,434,400
26. 12. 5	嚥下検査記録ユニット及び嚥下造影検査用車イス	島津エス・ディーVF検査記録ユニット及び東名ブレース嚥下造影車イスVF Style	1,896,000
26. 12. 22	レーザー前房蛋白測定装置	興和 レーザーフレアーマーター FM-600	4,266,000
27. 2. 19	医療用画像管理システム	医療用画像管理システム Server Storage 一式	5,940,000
27. 3. 6	全自動分割分包器	小西医療器 DUET GRAN・C・GP	4,320,000
27. 3. 17	リハビリ業務支援システム	タック社 リハビリ業務支援システム 一式	5,605,200
27. 3. 19	基幹NW機器更新(院内LAN)	基幹NW機器更新(院内LAN) 一式	3,672,000
27. 3. 20	内視鏡画像コンバートシステム	オリンパスメディカルシステムズ DICOMコンバータ 一式	4,806,000
27. 3. 20	レントゲン一般撮影画像検像システム	本館一般撮影 DICOM検像システム Array Quartina 一式	2,700,000
27. 3. 24	医用テレメータ	日本光電 WEP-5218	4,989,600
27. 3. 24	セントラルモニタ	日本光電 PU-621R	9,126,000

27. 3. 24	十二指腸ビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ EVIS LUCERA JF-260V	円 2,786,400
27. 3. 24	総合肺機能検査装置	チェスト 電子スパイロメータ DISCOM21 FXIII	1,652,400
27. 3. 24	一般X線撮影間接変換F PD装置	富士フイルムメディカル CALNEO 二式	23,760,000
27. 3. 24	多用途透析用監視装置	日機装 DCS-100NX 二式	3,564,000
27. 3. 24	脳波計	日本光電 Neurofax EEG-1214	7,830,000
27. 3. 24	過酸化水素低温プラズマ 滅菌器	ジョンソン&ジョンソン STERRAD-100S	9,990,000
27. 3. 24	統合型臨床情報システム	日本光電 統合型臨床情報システム PrimeGaia PRM-7000	29,700,000
27. 3. 26	胸部撮影用X線装置	島津製作所 RADspeed Pro	4,860,000

○ 医師・看護師確保対策事業

病院事業の安定ひいては地域医療の存続のために、医師・看護師不足を解消すべく、確保対策の1つとして医師・看護師奨学金制度を運用している。平成26年度は医師奨学生を4名、看護師奨学生を10名新たに選考し、貸与終了後の医師及び看護師の安定的な確保に努めた。

なお、平成26年度卒業の医師奨学生2名、看護師奨学生9名は当院に就職した。

平成26年度 医師・看護師奨学生貸与状況

1 医師奨学生

学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計
奨学生人数	2名	3名	0名	1名	1名	3名	10名

2 看護師奨学生

学年	1学年	2学年	3学年	4学年	計
奨学生人数	16名	5名	10名	2名	33名

奨学金制度のみならず、医師を派遣していただいている三重大学をはじめとした、大学や医療機関へ積極的に働きかけを行った。その結果、緩和ケア内科医師1名と、市健康課と連携し、藤田保健衛生大学に寄附講座を設置して、延べ週4名のリハビリテーション医を確保することができた。初期研修医の確保については、就職説明会への参加や病院見学者の受け入れに努め、5名（医師奨学生2名を含む）が当院に就職した。

また、三重県立看護大学特別選抜試験地域推薦入学制度の利用や潜在看護師（看護師・准看護師

免許を持っているが、家事・育児等により医療現場から離れている方)の職場復帰につながるよう、実習を伴った研修会の開催により看護師確保にも努めた。

併せて、ホームページやフェイスブック等を活用した情報発信、病院紹介イベント等への参加等、医療スタッフの確保につながる広報活動を行った。

○ 新病院建設関係

新市立伊勢総合病院建設用地について取得を完了した。また、新病院開院へ向け、医療機器・物品搬送等の現状調査等を実施するとともに、建設工事に係る基本設計業務に着手した。

1 用地取得関係

場所	事業内容	地権者数	筆数	面積	金額
楠部町 地内	新市立伊勢総合病院建設用地	名 6	筆 7	m ² 5,876.41	円 162,660,110

2 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
楠部町 地内	平成26年度新市立伊勢総合病院開院支援業務委託	1 設計支援、運用フロー検討等運営システムに関する支援 2 物流管理システム現状分析、導入計画に関する支援 3 現有医療機器調査、医療機器マスターリスト作成及び医療機器設備レイアウト検討等に関する支援 4 医療情報システム現状調査、運用計画等に関する支援	円 12,960,000	26. 6. 30	27. 3. 31
〃	(注) 新市立伊勢総合病院建設工事設計業務委託	敷地面積 約36,800m ² 建設工事設計 1 建築工事設計 一式 本院、院内保育所、駐車場、ヘリポート、外構、その他付帯施設 2 既設建物解体工事実施設計 一式 3 敷地造成工事実施設計 一式	204,120,000	26. 11. 28	28. 8. 31
計	2件	—	217,080,000	—	—

(注) 債務負担行為 平成27年度～平成28年度